



1905年製 フォード モデルC トノー



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	800
総生産量	1,599 (確認)
馬力	10
重量	1,250ポンド/ 567キログラム
当時売価	\$950

イノベーション(ポイントのみ)

先のモデルAに比べ、よりモダンなスタイル

モデルAよりもわずかに馬力が高く、ホイールベースが6インチ長い

「ドクターズ・カー(医者に人気の車)」と銘打って市場に出された

フォード・モーター・カンパニー・オブ・カナダで組み立て

この地とカナダにて組み立ては行われた

フォードが提供した1905年モデルは、モデルB、モデルCそしてモデルFの3種類である。Cには2つのモデルがあり、オープンカーのラナバウト、または2列目の「後部座席(トノー)」が追加されたラナバウトであった。また、フロントガラスはオプションで、工場から取り寄せることができた。モデルCは、カナダのウォーカービルでも組み立てられた最初の車であり、トノーモデルにはサイドドアが付いていた。新しい10馬力の「水平対向」気筒エンジンが特色であり、車を時速30マイルで走らせることができた。エンジンはボンネットの下にあるように見えるが、モデルAと同様に前方座席下に備えられている。また、ガソリンタンクがボンネットの下に取り付けられている。

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場で作られた車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵品に対し、非常に感謝している。